



磐田北小 1年
母里 穂佳



みんなのかぞく



市長賞受賞者のコメント

わたしのたいせつなかぞくは、パパとママ、ねこのコスモ、まい年くるツバメのピーちゃんです。コスモは、はままつしどうぶつえんでほごされたねこです。ねているときのかおがとってもかわいいです。6月に、ピーちゃんが大きくなって空へとびたつたときは、ちよつとかなしかったけどうれしかったです。「またきてね、ピーちゃん。」「ながいきしてね、コスモ。」

講評

家族の一員として大切にされているネコとツバメ。自慢げに抱き上げる穂佳さんの顔には、毎日の生活の喜びが溢れているようです。見守るママとパパの笑顔も弾けています。大きな太陽以上の明るさと温かさ、に満ちたご家族ですね。おおらかな線描と彩色、葉っぱのスタンピング、どれもが楽しい作品です。

(聖隷クリストファー大学
教授 鈴木 光男)

魅力ある芸術文化活動を目指して



磐田市文化協会
会長

鈴木儀治

昨年度同様、本年度もコロナ禍の中でしたが、無事、市芸術祭が開催できました。これも各部門の実行委員を始め、会員の皆さんの熱意と精力的な取り組みのお蔭と感謝しています。なお、各部門共に大盛況で有意義な芸術祭となりましたが、舞台部門につきましてはコロナ対策のため、入場制限をさせていただきました。来年度は、新文化会館「かたりあ」が完成しますので、大勢の市民の皆さんにお出でいただき、素晴らしい舞台発表を披露してほしいと思います。

芸術祭以外の活動では、1月に「磐田を描く・撮る・詠む作品展」を開催しましたが、大変好評で大勢の市民の皆さんにお越しいただきました。また、2月には磐田・袋井・森の地区合同「ほつと絵画展」を開催します。

本協会では、文化協会の活動は所属会員だけが楽しむものではなく、より多くの市民の皆さんにも親しまれ、共に芸術的な感動を分かち合える存在でありたいと考えています。それが文化協会の役割であり、存在感を二層高めることになるとおさえて、事業(活動)の企画・運営に取り組んでいます。具体的には、

1 所属会員は、常に切磋琢磨し合い、それぞれの「力・技」を高め、自らが求める芸術活動の継承・発展に努めること。(継承と発展)

2 活動成果を発表する場や、市民の皆さんにも参加を呼び掛けて、共に芸術文化活動の醍醐味を味わっていただけるような場を工夫すること。(啓発)

この二つのことを重点に本年度も魅力があり、親しまれる活動が展開できるように会員一同、一丸となつて取り組んでいきますのでよろしくお願いいたします。



磐田市長
草地博昭

文化振興に多大なご理解とご協力をいただくとともに、その推進役としてご尽力くださり、誠にありがとうございます。

令和3年度の芸術祭は、延べ5,000人余りの方が足を運ばれたと伺いました。コロナ禍での開催にあたり、来場者が安心して観覧できるよう感染症予防対策を講じていただいたことで、大変盛況であったことをお慶び申し上げます。また、企画運営に取り組んでいただきました貴協会役員の皆様をはじめ加盟団体の皆様に心から感謝申し上げます。

私も芸術祭の各会場に足を運び、展示・舞台等を鑑賞させていただくとともに、初めて表彰式にも出席させていただきました。いずれも日々のご努力の成果が十分に発揮され、豊かな感性と作品に寄せる熱い想いに感動しました。

文化活動は、心豊かな、充実した暮らしを実現するために欠かすことのできないものであると同時に、子どもたちの心に多様性を育みます。

皆様方の積極的な活動により、磐田市民の文化がこれからも発展していくことを期待しております。結びに貴協会のますますのご発展と皆様方のご健勝を心からお祈り申し上げます。

舞台音楽部門発表

●とき 令和3年10月24日(日)
●会場 アミューズ豊田ゆやホール

三上 敦

音楽部門は台風接近などの影響で3年ぶりの公演でした。昨年度はコロナ禍における対策を万全に50%の入場制限で無事に開催できました。本年度は幸運にも緊急事態宣言も明け、世間では活動が再開され昨年度と同様の開催ができるものと期待していました。しかし、制限継続要請のため入場者が、70人余りで公演を開催しました。直前緩和は状況判断に苦しみましたが、出演者はそれぞれ工夫をし、日頃の練習の成果を発揮することができました。会員同士の交流もできたと思います。

来年は新しい市民文化会館での発表が期待されます。



いけばな展

●展示期間 令和3年11月12日(金)～14日(日)
●会場 磐田市立中央図書館

古山 慶子

本年度は部員の念願が叶い、初めて中央図書館でいけばな展を開催することができました。市内はもちろん市外からのお客様からも迷わず来られたと好評でした。また、図書館に本を借りに来た皆様も立ち寄り、例年になく幼稚園児から高齢者まで、また車椅子の方までも熱心に楽しんでいただけました。開催にあたり、図書館の担当の方々に温かいご協力をいただけましたこと、感謝申し上げます。



磐田菊花展

●展示期間 令和3年11月4日(木)～7日(日)
●会場 磐田市立中央図書館

藤原 健

昨年と同様、異常気象による日照不足と夏の猛暑が菊の成長に影響し、出品数も減少しました。95歳と93歳の菊花会OBによる懸崖や杉作りが会場を飾り、みなさんの目を引きました。会場が中央図書館という環境にも恵まれ、来場者が多く、「綺麗な菊」「目の保養になった」と喜んでいただきました。一年の苦労を忘れ、「やりがい」を感じる瞬間です。この「やりがいを感じる仲間」を増やしたいです。



磐田市ジュニアアート展

●展示期間 令和3年11月13日(土)～21日(日)
●会場 豊田福祉センター

近藤 育夫

ジュニアアート展は今年第10回を迎えることができました。本年度も磐田市内の全小学校より1,237点の応募をいただき、入選の201点を展示しました。会場が豊田福祉センターに変わり心配しましたが、多くの皆さんに来ていただきました。

小中学校の図工美術作品展が昨年で終了し、市内の全小学校の作品を一堂に展示する唯一の展覧会となりました。これからも社会教育の立場から、子どもたちの創作や表現を応援していきたいと思っています。





思い出の敷地駅

ぼくは、小さいころから電車が好きで、家族といっしょに何度も敷地駅に電車を見に行っていました。電車が来ると、運転手さんが、けいてきを鳴らし、手をふつてくれました。それを見て「かつこよいなあ、ぼくも運転してみたいなあ」と思っていました。静かで落ちついたふんい気のある思い出の敷地駅。いつまでも変わらないでいてほしい気持ちをこめて描きました。



会長賞

ジュニアアート展

豊岡南小5年
仲村 想



教育長賞

ジュニアアート展

田原小3年
高橋 佑有奈



メダカたち大集合

わたしは、大切なメダカのために池を作りました。池にはなしてあげたら、楽しそうに泳いでくれました。メダカはかわいくて心が落ちつくから、絵にかき表したいと思いました。

茶色い石のボコボコを表すためにクレヨンを横にして使ったことと、メダカの楽しそうな様子を明るい色で表したことがくふうしたことです。

メダカが楽しくすごせるように、これからもお世話をがんばります。



せみのかんさつ

ぼくは、夏休みにかぶと塚公園で、羽化しているセミを見つけました。ぼくは、セミが羽化するところをはじめで見ました。その時の感動した気持ちやふつうのセミとはちがう黄緑色の体ときらきらとしたとう명한羽を絵で表現したいと思つてかきました。



第10回記念賞

ジュニアアート展

豊田南小4年
古賀 大馳

第10回ジュニアアート展受賞者名

賞	学校名	学 年	氏 名
市長賞	磐田北小	1 年	母里 穂佳
文化協会会長賞	豊岡南小	5 年	仲村 想
教育長賞	田原小	3 年	高橋佑有奈
第10回記念賞	豊田南小	4 年	古賀 大馳
特 選	磐田南小	1 年	鈴木 統真
特 選	東部小	1 年	竹下 結
特 選	東部小	1 年	平田 瑠李
特 選	豊田東小	1 年	平野 葉月
特 選	豊岡北小	1 年	本多 秋絵
特 選	磐田北小	2 年	大場 すず
特 選	磐田西小	2 年	伊藤 麻歩
特 選	田原小	2 年	村松 樹
特 選	豊田南小	2 年	松本 莉愛
特 選	豊岡北小	2 年	山田真希帆
特 選	磐田北小	3 年	前嶋 遼恭
特 選	磐田南小	3 年	山田ひより
特 選	東部小	3 年	二瓶里桜奈

賞	学校名	学 年	氏 名
特 選	富士見小	3 年	伊藤 帆高
特 選	富士見小	3 年	田畑 拓瑞
特 選	磐田南小	4 年	太田かのん
特 選	磐田南小	4 年	鈴木 想乃
特 選	富士見小	4 年	田畑 遥都
特 選	豊田南小	4 年	三ツ井駿斗
特 選	豊田東小	4 年	平野 心葉
特 選	磐田西小	5 年	大石 珠裕
特 選	田原小	5 年	岩井ひなた
特 選	竜洋東小	5 年	鈴木 梨紗
特 選	豊岡北小	5 年	石川 颯姫
特 選	磐田分校	5 年	さ な
特 選	磐田北小	6 年	大石 眞士
特 選	長野小	6 年	吉田 希
特 選	田原小	6 年	松下 聖奈
特 選	福田小	6 年	大澤 俊介
特 選	豊田東小	6 年	西村 一希

公募部門発表

右野 香代子

感染対策をしながら中央図書館で公募展を開催しました。レベルの高い作品ばかりで審査もさぞ大変だったことでしょう。展示日数が少ない中多くの方々が鑑賞してくださいました。一日も早く展示施設が出来ることを願っています。そうすれば日程もゆつたり出来てより多くの市民に見ていただけたと思います。



令和3年度 磐田市芸術祭

部門別受賞者名

俳句の部

短歌の部

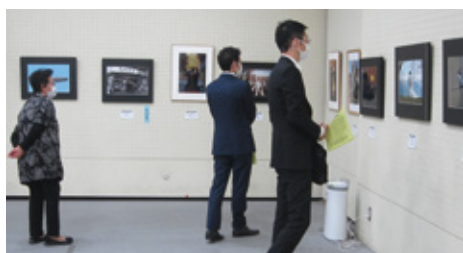
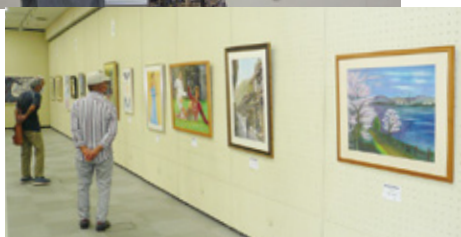
書の部

絵画の部

写真の部

工芸の部

市長賞 村上千柄子	市長賞 鈴木 和枝	市長賞 鈴木 汀風	市長賞 鈴木 修	市長賞 寺田 靖司	市長賞 内山あさ子
特選 中村 文子	会長賞 岡田 延子	会長賞 榊田 綾水	会長賞 芹野 洋介	会長賞 石橋久司郎	特選 安藤コズエ
特選 森下美紀子	教育長賞 藤田 悦子	教育長賞 増田 貴子	教育長賞 小川 二郎	教育長賞 鈴木けい子	特選 伊藤 吉春
特選 金田みな子	特選 松島 良江	特選 磯部 敏子	特選 鈴木 勲	特選 鈴木 隆広	特選 西 史郎
奨励賞 塩野 昌治	特選 鈴木 尚子	特選 洪川 恵泉	特選 野澤 靖子	特選 築地 洋	奨励賞 寺田 早希
奨励賞 山城 玲子	特選 土屋 弘司	特選 神谷 美月	特選 仲川 勝彦	特選 掛澤 孝彦	奨励賞 坪井紀代子
奨励賞 弓場 忠義	奨励賞 佐藤 洋子	奨励賞 鈴木 智子	奨励賞 小山 幸一	奨励賞 田中 恒夫	奨励賞 石代 博子
奨励賞 高橋 誠	奨励賞 金澤 桂子	奨励賞 秋山 裕亮	奨励賞 伊東 強	奨励賞 佐藤 和子	奨励賞 鈴木恵美子
奨励賞 青木いく代	奨励賞 鈴木 朋子	奨励賞 藤田 恵水	奨励賞 宮地 春洋	奨励賞 大場 孝晴	奨励賞 西尾 義房
	奨励賞 杉村はるみ	奨励賞 柿原ななみ	奨励賞 上間明香里	奨励賞 渡邊 富子	
	奨励賞 中村且之助	奨励賞 井上 漣華	奨励賞 太田 美穂	奨励賞 神田 厚	
	奨励賞 長谷川祐治	奨励賞 松浦 瑞子	奨励賞 山本起美子	奨励賞 鈴木 修	



令和3年度 磐田市芸術祭公募部門 市長賞受賞者の言葉

俳句の部 市長賞

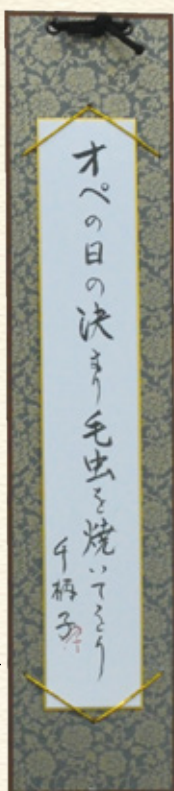
村上 千柄子

俳句を始めて今回のような大きな賞をいただけるなんて夢のようです。
思わずガッツポーズをしました。
結婚して長くなりますが主人が入院するのは今回が始めてでした。

不安感を表した一句です。今回改めて俳句は良き事も悪しき事も題材になると思います。

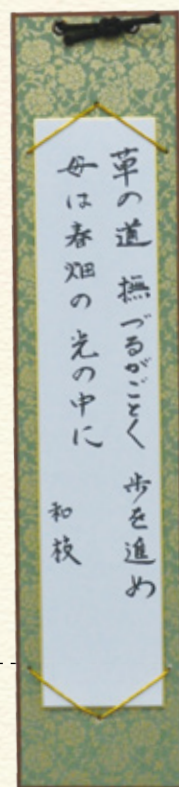
黒崎治夫先生、村上尚子先生、句友に感謝です。それと同時にいつも支えてくれる家族にも感謝です。

本当にありがとうございました。
精進したいと思います。



短歌の部 市長賞

鈴木 和枝



平成17年に師であります大石先生に誘っていただき短歌を始めました。やめようと思った事もありましたが続ける事こそが大切とつくづく思いました。

冬籠りも終わり畑に出る97歳の母の春の喜びを詠んだものです。思いがけない賞をいただき大変うれしく思います。

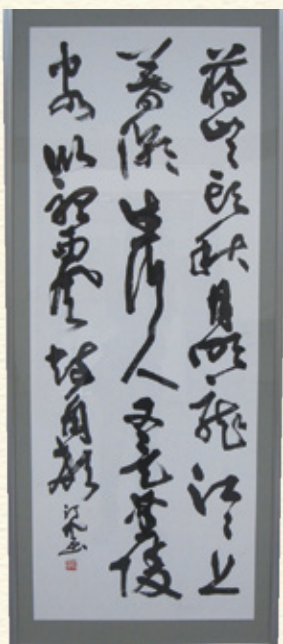
「大石先生、楨の実」の皆様方のお陰と感謝しております。選者の樽松先生そして文化協会の皆様方にはお世話になりありがとうございました。

書の部 市長賞

鈴木 汀風

この度、思いも掛けない市民賞の知らせを聞いた時、自分の耳を疑い何度も聞き返してしまいました。大変光栄ですし、自信もいただきました。墨の潤渇、文字の大きさを

と余白に注意して練習しましたが満足のいくようには書けませんでした。この賞をいただけたのは、早瀬明観先生のお手本と、いつも熱心なご指導のお蔭と心より感謝申し上げます。コロナ禍で制約がありますが、書道が続けていられる事を嬉しく思いました。



絵画の部 市長賞

鈴木 修

鎌田神明宮秋の大祭では、地域の小学生が浦安の舞を奉納します。穏やかで平和な世界を浦安と言うようです。その舞いを練習する様子を写真に収め、真剣に舞う子どもたちの姿をどのように表現するか、どのように画面構成したらいいかなどを考えて描き上げた作品です。写実的に描いた古いタイプの描き方ですが、賞をいただき大変嬉しく思います。

もう50年以上、折に触れ花や風景、人物を趣味で描いてきました。これからも描き続けられる限り磐田市芸術祭に出品し続けるつもりです。



浦安の舞

写真の部 市長賞

寺田 靖司



けあらし

この度は市長賞という素晴らしい賞をいただき誠に有難うございます。初出品でまさかの市長賞受賞には本人が一番驚いています。この写真を撮った時は、もう一つの趣味の釣りをしていた遠州灘の砂浜でした。日の出直後に珍しい現象の「けあらし」がおこり、同時に近くの漁港からシラス漁の漁船が出港してきたのを見つけ、急いで車にカメラを取りに行き、ひたすらシャッターを切りました。小学校の頃から続けてきた写真の趣味、これからも沢山撮って楽しんでいきたいと思っています。

工芸の部 市長賞

内山 あさ子



ぜんまい布 (静かな川面)

このたびは、市長賞をいただき、ありがとうございます。元気で終活していきたいなと、8年前、機織を始めました。楽しみであるなら一からと思い、綿を栽培し、ぜんまい毛を入れこんでつむぎ、デザインを考え、緋を括り、草木染めをし、機に掛ける。長い時を経て、やっと一枚の帯になる。きついと思う作業も面倒な計算も織り終えれば、満足感も広がります。まだまだ未熟で解らないことばかり、この機会に掘り下げ、精進し、楽しみを深めていきたいと思う。願わくば、半帯で気楽に着物を着られる方が増えることを願っています。

令和3年度 加盟団体名簿

NO	団 体 名	員数	代表者氏名
【1 書の部 理事 平田 藍水】			
1	磐田市書道連盟	19	伊藤 千勝
2	硯友会(書道研究)	2	帷子 紫峰
3	遠邇篆会	2	伊藤 雅夫
4	静岡県書道連盟磐田支部	59	平田 藍水
5	はぐま楽書会	11	河合 俊彦
6	現代書道研究、抱灘会	8	大橋 速宏
【2 絵画連盟 理事 仲川 勝彦】			
7	磐田市美術協会	46	近藤 育夫
8	泉美会	6	犬塚 昭子
9	LEMONの会	9	宮地 春洋
10	磐田絵の会	5	斎藤 勝弘
11	彩美会	3	太田 篤
12	竜涛水墨画の会	1	中村 忠志
13	豊田南絵画クラブ	2	金田 和久
14	みなみ絵の会	3	鈴木 哲治
15	人物画サークル	5	白川いく子
16	わ・アート・遠江	1	寺田伊勢男
17	磐田水彩画クラブ	6	西 史 郎
【3 写真連盟 理事 神田 厚】			
18	磐田市写真連盟	31	神田 厚
【4 工芸連盟 理事 右野 香代子】			
19	磐田市工芸会	16	佐藤 京子
20	おりひめ手織大場教室	3	大場 順子
21	優曇華の会	1	村井 静子
22	磐田布絵の会	8	山田ゆみ子
23	豊田陶芸教室	1	東中 一夫
【5 短歌の部 理事 原田 緑】			
24	遠江歌会	9	原田 緑
25	豊田短歌クラブ	13	小笠原小夜子
【6 俳句の部 理事 鈴木 登志子】			
26	楨の会	19	村上 尚子
27	竜東句会	9	夏目 裕子
28	柚句会	1	鈴木登志子
【7 いけばなの部 理事 鈴木 文恵】			
29	池坊	6	岩永三千代
30	池坊星流	6	古山 慶子
31	一般財団法人小原流磐田支部	6	富田 夕映
32	公益社団法人 松風花道会	6	竹内 範子
33	草月流	6	鈴木 絹代
34	日本生花司 松月堂古流	6	鈴木 文恵
35	東山源氏千家古流千和会	6	鈴木のお江
36	龍生派	4	佐口 俊子
【8 園芸の部 理事 飯田 實】			
37	磐田菊花会	14	藤 原 健
【9 合唱の部 理事 松井 玲子】			
38	磐田オケ研究会磐田コロ・ユビラーテ、磐田パッサン合唱団	20	坪井紀代子
39	コール・アニマート・ふくで	9	大竹 智子
40	ジュニアコーラスふくで	9	松井 玲子
41	ふくでこまちず	2	松井 玲子

NO	団 体 名	員数	代表者氏名
42	和の奏 うたら	3	埋田 千聡
【10 器楽の部 理事 加藤 悠祐 星野 雅子】			
43	磐田吹奏楽団	49	加藤 悠祐
44	星野ピアノ教室	59	星野 雅子
45	アンサンブルチェレスタ	8	飯田まゆみ
46	オカリナアンサンブル・バーバラ	5	榎本美佐子
47	芸樹音楽の森	20	平松なをみ
48	マリンバアンサンブル ブルーコーラル	30	市川 真己
【11 洋舞連盟 理事 小田 真弓 鈴木 直与】			
49	佐藤典子舞踊団	20	佐藤 典子
50	安西 章 ノレエスタジオ	15	安西 好招
51	リズムダンス同好会	10	鈴木 ま起
52	エスペランサ	19	小田 真弓
53	ハワイアンミュージックフラソサエティ	27	山崎 節子
54	鈴木直与ノレエスタジオ	10	鈴木 直与
55	豊田バレエ教室	11	鈴木奈津子
56	Estudio raiz 神谷真弓 石井奏碧フラメンコ教室	12	神谷 真弓
57	Dance platz J・J-kids	23	中尾 純子
58	フラススタジオ レインボーフォールズ	16	白井けい子
【12 箏・三味線・尺八の部 理事 桂 みさを】			
59	生田流箏曲、三絃 桂 伸操 社中	19	桂 みさを
60	生田流箏曲、三絃 鈴木玉詩恵社中	10	鈴木 文恵
61	磐田三曲協会	3	松野 鷺山
【13 詩吟・詩舞の部 理事 榎本 博】			
62	日本詩吟学院磐田富嶽会	23	榎 本 博
63	磐田岳心会	16	梶原 洋一
64	宝生流能楽 林宝会	5	岩 上 治
65	日本杜心流剣詩舞道磐田支部	8	小池かな江
【14 日舞の部 理事 若菜 伊三和】			
66	日本舞踊若菜流 若菜伊三和社中	6	若菜伊三和
67	磐田日本舞踊連盟左門流 左門紗衛菊社中	7	左門紗衛菊
68	美咲会	2	夏目 和代
【15 民謡・民舞連盟 理事 鈴木 すゑ子】			
69	日本フォークダンス連盟 磐田民謡会	8	山本 照子
70	民族衣裳文化普及協会磐田支部	12	鈴木すゑ子
【16 演芸の部 理事 井伊 貞二】			
71	人形劇団どんぐり	2	井伊 貞二
72	劇団たんぽぽ	5	上保 節子
【17 カラオケの部 理事 松本 きよみ】			
73	きよみ会	1	松本きよみ
【18 日本芸能の部 理事 杉本 洋】			
74	遠江いずみ會	25	杉 本 洋
75	創作和太鼓 風神	3	龍光 純男
【19 郷土研究の部 理事 佐藤 元則】			
76	ふるさと豊岡を考える会	2	佐藤 元則
【20 茶道の部 理事 岸井 成代】			
77	茶道裏千家なでしこ会	14	岸井 成代

77団体 907名(大人 734名 高校生以下 173名)

加盟団体の紹介をします！

和の奏うたら



2019年6月結成。うめた作詞曲、叙情歌、ピアノ曲、箏曲に独自の編曲を加え遠州各地で演奏。ピアノは袴田麻純、箏は鈴木紀恵子、三浦円香が担い、橘花芽による即興舞が舞台に花を添えています。歌、奏、舞と空間、聴衆との調和を目指す女性5人のユニットです。

主な表演 ◆2019年8月可睡斎風鈴祭り ◆2019年11月見付宿たのしい文化展 ◆2020年1月可睡斎雛祭り ◆2021年1月「お箏と歌う日本の調べ」小松楼(湖西市) ◆2021年2月組曲「銀河鉄道の夜」コンサート ◆2021年4月秋葉山本宮秋葉神社奉納



〈代表者〉うめた ちあき
〈連絡先〉〇八〇一三六二二四九七四

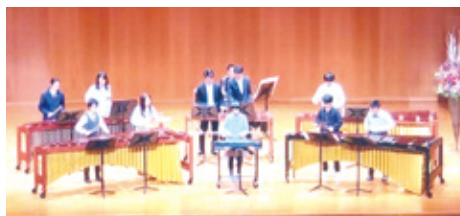
創作和太鼓 風神

風神は2006年に和太鼓、笛が好きなメンバーが集い発足、今年で15周年となります。現在会員は約15名で活動しています。主な活動としては、各地域の祭りのイベントや敬老会等への太鼓演奏を行って来ました。現在はコロナ禍により演奏活動は行っていないませんが、練習は楽しく継続しています。今年5月には福田中央交流センターにて太鼓講座を開催しました。新たな企画でしたが、参加者、風神メンバー共々楽しい経験となり大変好評でした。今後も市民の皆様方と太鼓・笛を通して楽しい活動を継続していきたいと思っています。



〈代表者〉龍光 純男
〈連絡先〉〇五三八一三二二五二九六

マリンバアンサンブル 「ブルーコーラル」



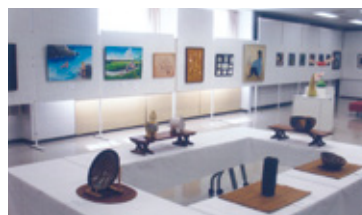
年齢にとらわれず、みんなで一つの音楽を作り上げる楽しさを感じて欲しいと結成したグループです。

以前は、年1回の音楽教室の発表会がアンサンブル演奏を披露する場でしたが、発表会だけでなく沢山の方にマリンバ演奏を聴いていただきたいと思っています。現在は幼児から大人、家族演奏と編成を変えながら慰問コンサートを行い、地域の催し等に参加をさせていただいています。



〈代表者〉市川 真己
〈連絡先〉〇五三八一三六六六三七

わ・アート・遠江



2015年に安全保障関連法案が自公多数の中で強行採決された。



その中身は、自衛隊の海外派遣が国会の承認を得なくても随時可能で、米軍などを武器防護するなどである。明らかに自衛隊の範囲も逸脱した。ピカソがゲルニカを描いたように、作家として作品で意思表明することもないか。そんな話し合いの中で「平和」をテーマに展覧会をやるとういうことになり、この会が発足した。特別な年間活動は無く、必要経費を集めて、この指とまれ方式で毎年1回この展覧会を開催している。

〈代表者〉寺田 伊勢男
〈連絡先〉〇五三八一三二二八五九八

磐田市文化協会賛助会員

順不同

高尾純男	玉田文江	声楽家 山田美津子	オペラ歌手 谷口晶子
永井和彦	大石正之	鷹野 薫	村上浩太郎
牧野周一	砂子精一	山崎克巳	高橋敏夫
藤森秋子	山下武士	小笠原里夏	鈴木光男
磐田カルチャー スイミングセンター 柳生宗男	一般社団法人 磐田青年会議所 加藤大策	磐田演劇鑑賞会 鈴木千名美	(株)いたくら 板倉浩司
(株)大進堂 鈴木隆之	鎌田山 醫王寺 松田智照	がくぶち画材 アオシマ 青島弘明	(有)遠州拓地 三井一雄
(有)サワダ美術社 澤田宏之	(有)松屋 齋藤泰司	グルッペ ちぐさ 村上千柄子	フリースペース詞華 西尾宏子
大竹歯科医院 大竹 繁	ハートセンター磐田 岡崎勝男	キンパラ(株) 金原一平	オフィス・ズー 鈴木正和 鈴木義典
一般社団法人 磐田国際交流協会 川原利彦	鈴木歯科医院 鈴木紳之	(有)鳥居商会 鳥居弘道	小林建設(株) 小林恵子
醍醐荘 平野元由	浜松いわた信用金庫 理事長 高柳裕久	(株)ケーオー工業 大石英二	藤井マタニティ クリニック 藤井俊朗
喫茶 潤 内藤 隆	カフェ クローバー 鈴木隆光	浜名梱包輸送 シルクロード ミュージアム	一般社団法人 総合文化施設 大簀家 花咲乃庄
浮月さつき会 寺澤 稔	(株)豊和不動産 水谷行宏	特定非営利活動法人 磐田ふれあい基金協会 理事長 大橋 忍	

公益信託石川博敏記念 磐田文化振興基金について

この基金は、磐田市の文化の振興発展を応援するため、石川建設株式会社の故 石川博敏氏により平成2年10月に設立されました。

故 石川博敏氏は、本業の建設業界の発展はもとより、歴史や文化に対する思いが深く、遠江国分寺の発掘及び国の特別史跡への指定、旧見付学校の修復保全及び国の史跡への指定、見付天神社裸祭の国指定重要無形民族文化財登録などに多大な貢献をされました。

このほか、磐田市の教育委員や、当文化協会を始めとする磐田市の文化や芸術に関する団体の育成や運営などにも大変尽力されました。

また、この基金は、設立以来、今年で32年目となりますが、この間、数多くの個人や団体、学校等が活動の支援を受けています。

当文化協会においては、磐田市芸術祭公募展及びジュニアアート展がその対象になっています。

なお、活動支援の受付や審査は、年2回行われておりますので、希望される方や詳細を知りたい方は下記相談窓口まで問い合わせてください。

支援の対象となる活動

- ◎音楽、美術、書道、華道、茶道、演劇、舞踊及び郷土芸能等の各分野における発表、展示及び公演活動
- ◎郷土の歴史文化並びに自然環境に関する研究保存活動
- ◎小、中、高等学校及び専門学校における地域の文化振興に貢献する部活動の発表、展示及び公演活動

*ただし、宗教的・政治的宣伝意図を有するもの及び営利を目的とするものは除く

みずほ信託銀行 浜松支店
TEL 053-454-6411

石川建設株式会社 総務部
基金担当 TEL 0538-36-0021



わが市・町の特色やよさを絵で表現する

ほんと絵画展

◎会期 令和4年2／16(水)～20日(日)

◎会場 磐田市立中央図書館展示室

静岡県地域文化団体連絡協議会広域文化事業

西部地区第2ブロック(磐田市・袋井市・森町)合同絵画展



第4回「磐田を描く・撮る・詠む」コラボ展

異分野同士の交流の一環として絵画・写真・短歌・俳句の合同展を今年度も開催した。

展示公開は令和4年1月9日(日)～16日(日)会場は豊田福祉センター3階大会議で行いコロナ禍にもかかわらず多くの来場者があり好評を得た。



竜洋なぎの木会館の前庭と中庭には、青銅で作られた竜の像がある。前庭にある竜頭は、目を大きく見開き、口も大きく開きまるで見る者を威嚇しているかのようなのである。踏ん張った右手には玉を掴み、左手は地に爪を立てている。中庭には竜口があり、両者は水路によって結ばれている。作品は、元静岡文化芸術大学の教授であった仲山進作氏の作品で、同氏の作品は竜洋スポーツ公園にある石造物「和」にも見ることができる。(山崎 克巳)



まちなか
アート散歩
竜頭と竜口

協会HPで紹介しています

磐田市文化協会 ご入会のご案内

入会希望の団体は文化協会事務局へご連絡ください。お待ちしております。
文化協会事務局 〒438-0833 磐田市弥藤太島500-1
TEL.0538-86-3730 E-mail iwatabunkyo@aqua.plala.or.jp
磐田文化協会ホームページ ■ <http://iwatabunkyo.com>

編集後記

コロナ禍、文化協会の諸活動、各種イベント等が制約を受けながらも実施でき、創26号の発行に至りました。編集に当たっては、読み易さ、見易さをモットーにできるだけ文字を大きく、できる限り写真を多く取り入れています。掲載内容は市民と係わりの中で会員の活動ぶりをメインにしていますが、子どもたちの活躍の様子にも目を向けています。まだまだ工夫の余地がありますので市民・会員の皆さんの忌憚のないご意見をお寄せください。

(寺田 潔)

磐田市文化協会
広報委員会

委員長 寺田 潔
委員 砂子 精一

顧問 村上 尚子
委員 鈴木けい子

委員 佐藤 元則